

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会の活動報告

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

目次

1. 活動内容
2. 長野県飯田市への視察
3. 市民・事業者アンケート調査の結果
4. フォーカス・グループ・インタビューの結果概要
5. 公共施設等調査の結果概要
6. まとめ

1. 活動内容

先行事例調査

- 現地視察
- 専門家ヒアリング

意識調査

- アンケート調査
- フォーカス・グループ・インタビュー

候補地調査

- 公共施設等調査

事業の仕組みの検討

2. 長野県飯田市への視察

- H24年2月8日、長野県飯田市を訪問し、「おひさま進歩エネルギー株式会社」の原社長及び飯田市役所担当者との意見交換。
- 併せて、飯田市内にあるメガソーラー施設も見学。



飯田市視察から言えることは

事業の核となる人物が重要

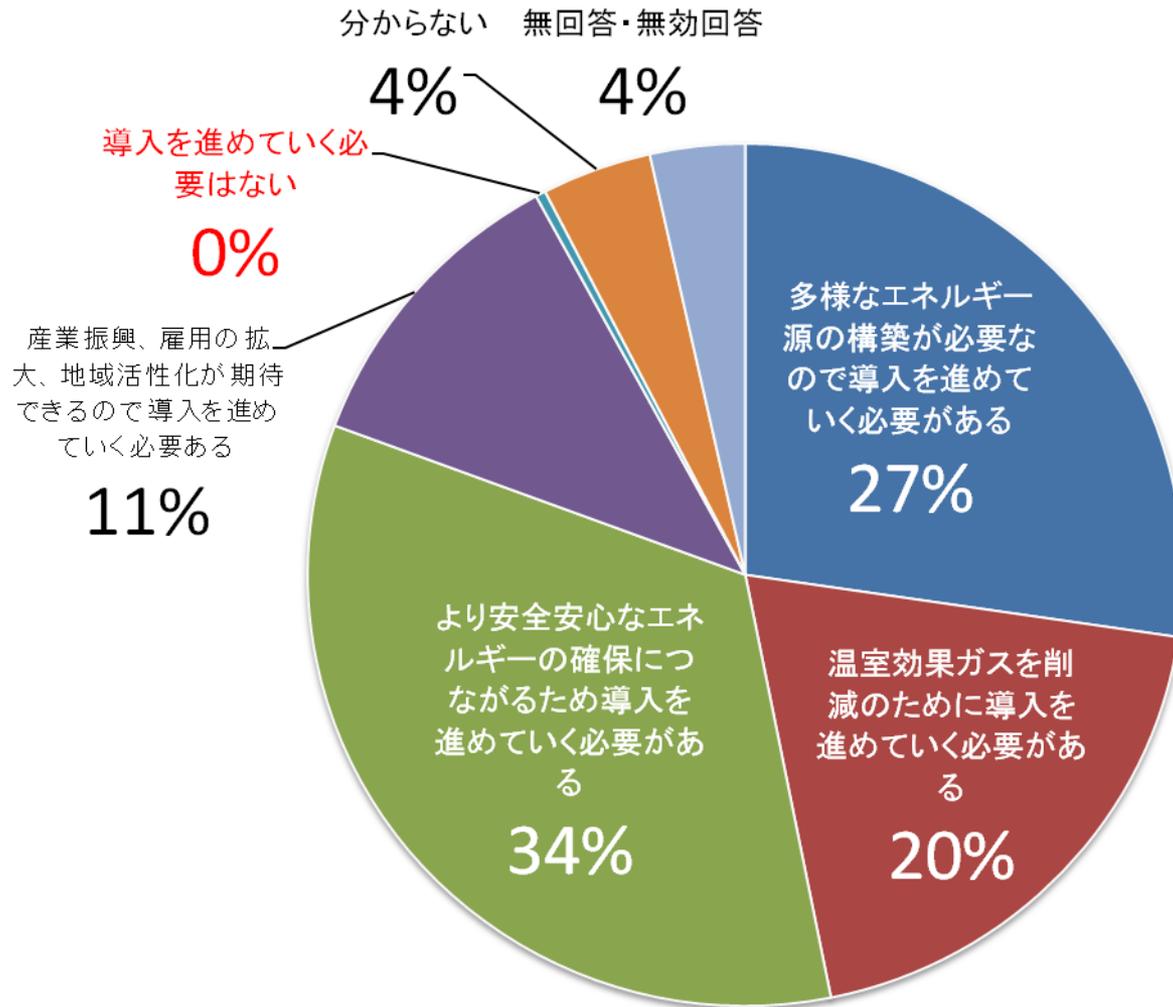
太陽光発電事業は、1つ当たりの収益は薄いですが、
比較的安定した収益を見込める

民間と行政が協働する重要性

3. 市民・事業者アンケートの概要

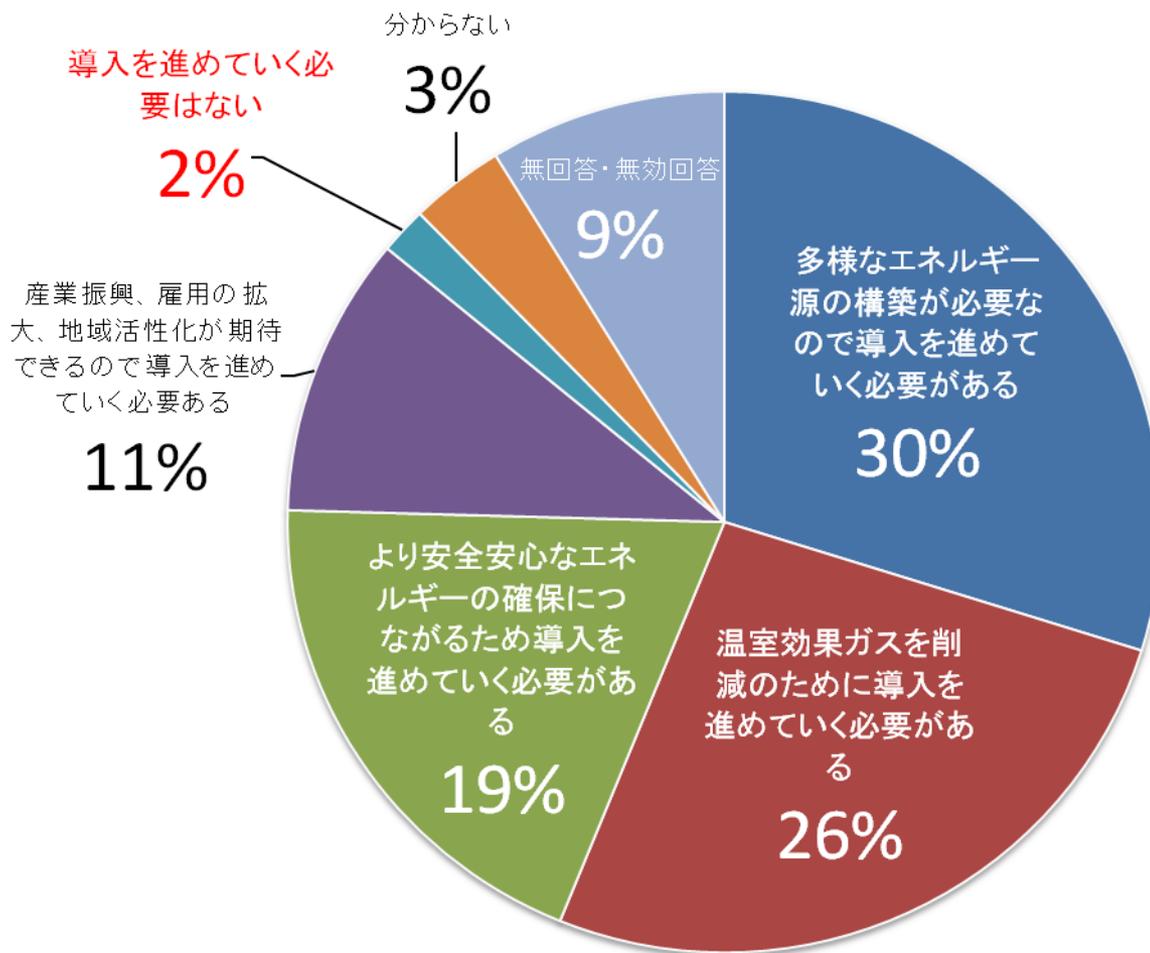
- 太陽光発電を始めとする再生可能エネルギー導入や市民出資に対する意識を調査。
- 市内約1,500名の市民及び約100社の事業者にアンケート調査を実施。（無作為抽出）
- このうち、市民542名（回答率37.2%）、事業者57社（回答率59.4%）から回答を得た。

再生可能エネルギー導入に対する意識（市民）



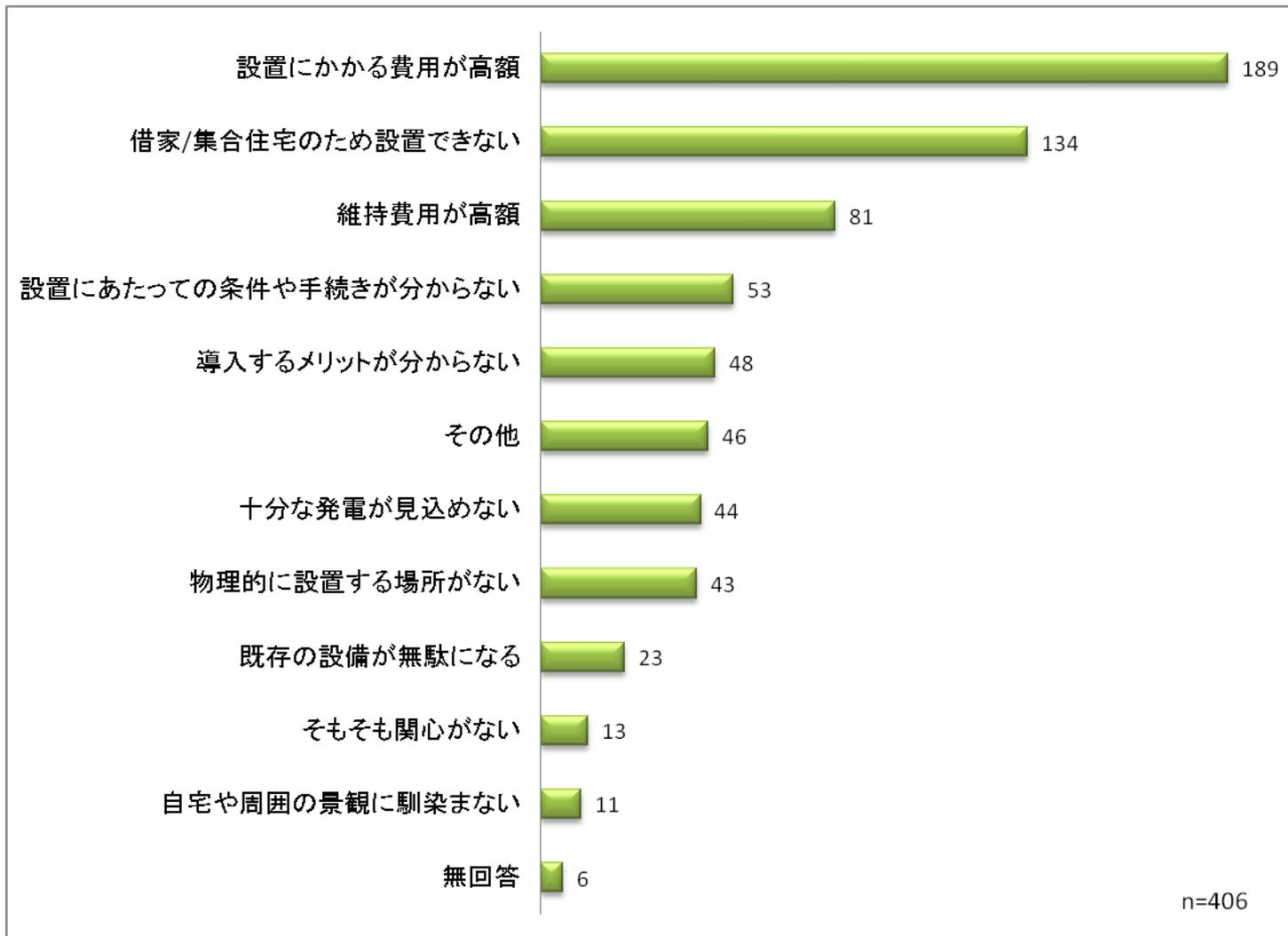
n=542

再生可能エネルギー導入に対する意識（事業者）

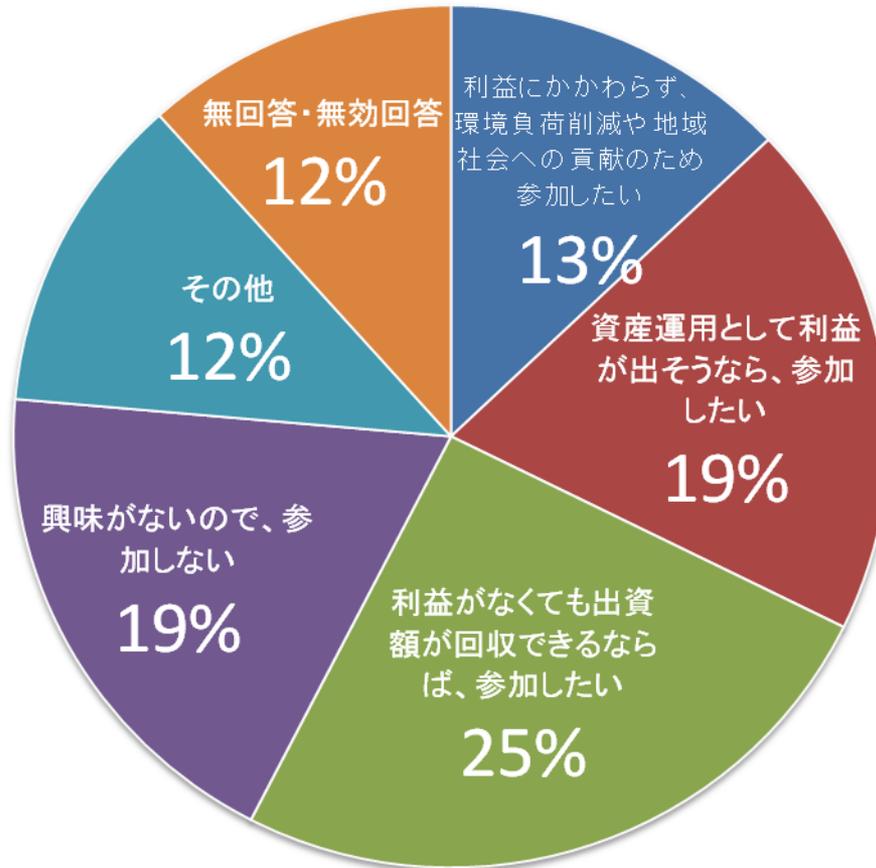


n=57

太陽光発電を導入しない理由（市民）

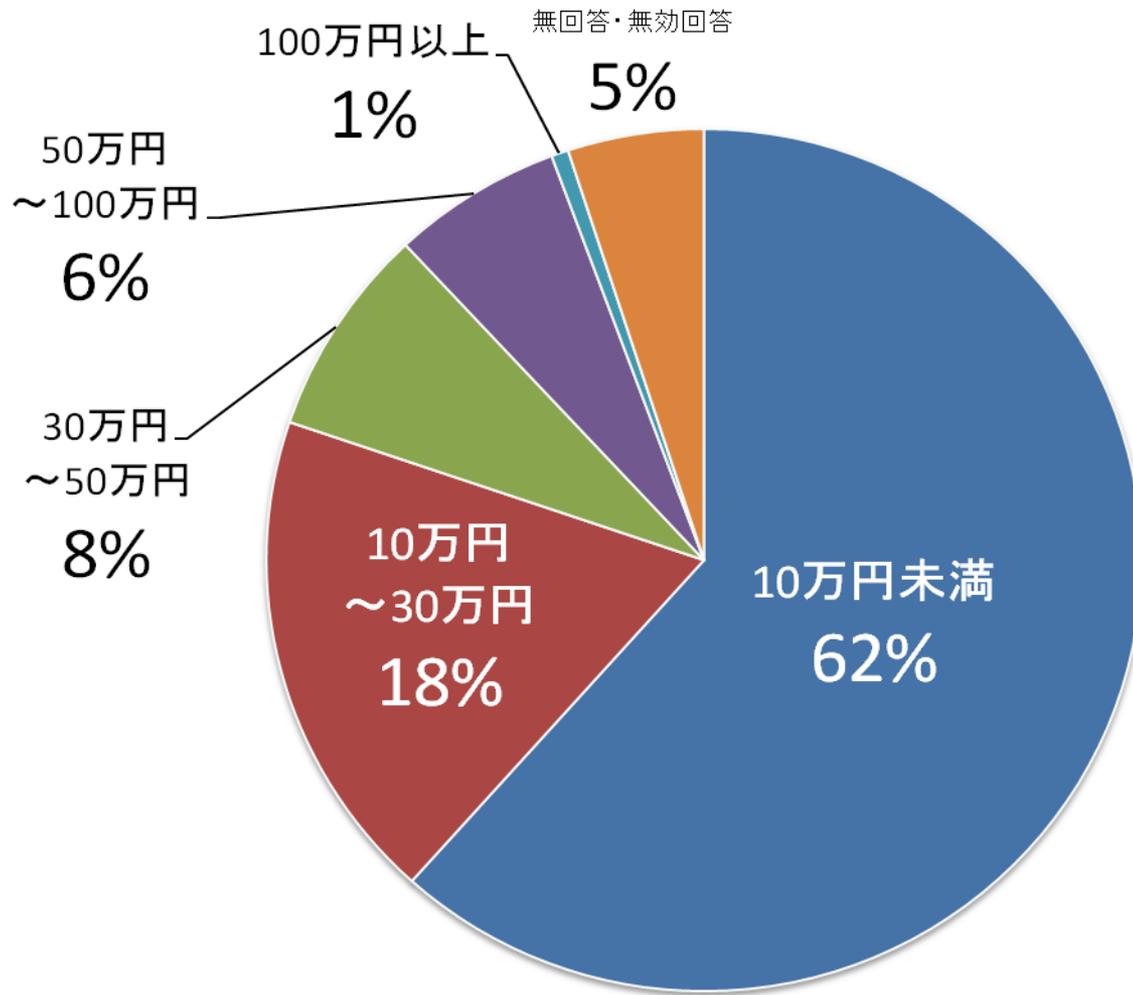


市民出資に対する市民の意識



n=542

市民出資への投資希望額



n=312

アンケートのまとめ

①再生可能エネルギー導入の必要性は広く共有されている。（市民、事業者ともに8割以上）

②しかし、実際に導入しているのはまだ少数派

③導入しない理由としては、費用面の課題や設置場所の課題を挙げる方がほとんど

④市民出資に対して、市民、事業者ともに6割程度が肯定的だが、投資希望額は比較的少額の傾向



特に③の課題を解決／軽減する仕組みが普及のために有効ではないか。

4. フォーカス・グループ・インタビューの概要

フォーカス・グループ・インタビューとは・・・

- 少人数の対象者に対して、司会者が座談会方式でインタビューを行い、その回答から対象者の心理を捉える調査手法
- 対象者の生の声を確認することが可能であり、アンケート調査では捉えられない、行動の背景にある心理を把握することが可能

主なコメント

太陽光発電に対するイメージ

- ◆設置費用が高い。
- ◆夜間は発電できない。
- ◆今すぐに太陽光と言われても、説明されれば大切さは分かるが、飛躍した話に聞こえる。

不安点

- 太陽光パネルを設置しようとしても、どのように取り掛かればよいかわからない。
- パネルの耐久性や、性能の劣化が心配。
- テレビでは、太陽光が、良いと言われる場合もあれば、悪いと言われる場合もある。何が正しいのか正確な情報が欲しい。

市民出資

- ◆市民出資には関心があるものの、10万円といわれると、すくんでしまう。
- ◆取組としては素晴らしいと思う。

小田原の地域特性

- ★小田原市民には今あるものを大切にし、新参を警戒する地域性があるので、新しいものに取り組むには慎重に行わないと、拒絶される。

PR方法

- もっと、初歩的な、再生可能エネルギーの大切さがわかる「入口」の説明が必要。
- 手に取って、見てわかる、楽しいイベントがあると良い。

5. 公共施設等調査の概要

- 公共施設等への太陽光発電設置可能性等を把握する調査を実施
- 195ある公共施設のうち、可能性のある50施設まで絞り込み、調査を実施
- 図面調査に基づき太陽光発電の設置可否の判定。その結果を踏まえ、24年2月に対象施設の現地調査を実施。

区分	施設総数	調査対象
庁舎(支所含む)	18	3
学校施設(小、中学校、幼稚園)	47	22
保育園	8	8
福祉施設	8	1
社会教育施設	25	3
公園	6	2
消防施設	5	0
水道施設	26	1
体育施設	10	1
保健衛生施設(清掃工場、病院、保健センター、下水処理施設等)	18	4
普通財産(競輪施設、地下街、駐車場)	4	2
その他(集会施設、街路灯、駅広場等、民間施設等)	20	3
合計	195	50

結 果

- 以下の発電容量の太陽光発電システムが設置可能なポテンシャルを有する。
- これらの公共施設中から、設置候補地を検討していく。

分 類	太陽光発電 ポテンシャル
学 校 (小中学校、保育園、幼稚園)	1,157kW (24施設)
その他の公共施設	581kW (10施設)

6. まとめ ～太陽光発電事業スキーム案～

